

# HARUYAMA REPORT

**株式会社はるやまホールディングス**

**第47期 年次報告書** 2020年4月1日から2021年3月31日まで



## 利便性を追求した オンラインショップの機能拡充

### 第47期の業績について

第47期は、新型コロナウイルスの感染拡大によって政府から緊急事態宣言が発令され、経済活動が著しく制限された時期がありました。その後一時的に収束の傾向が見られましたものの、年末年始にかけて感染が広がり、再度緊急事態宣言が発令されるなど、先行き不透明な状態が続いてまいりました。

衣料品小売業界におきましても、感染拡大防止のための外出自粛要請もあり、臨時休業や営業時間の短縮など、厳しい状況のまま推移いたしました。このような環境のもと当社グループは、引き続き「健康」をキーワードとした差別化戦略を展開してまいりました。具体的には、ビジネスパーソンが健康で快適に働けるよう、「洗えるスーツ」やストレッチ性に優れたセットアップスーツなど、高機能商品の拡販に努めてまいりました。

また、外出自粛が求められるなか、ご自宅からインターネットでお買い物ができるオンラインショップの機能充実に取り組みとともに、物流体制の見直しにより納期を短縮し、さらに、店舗で商品を受け取れるようにするなど、お客様の利便性の向上にも努めてまいりました。あわせて、オンラインショップサイトに、当社従業員によるスタッフコーディネート写真を掲載し、お客様にイメージをご実感いただくことで、より安心してお買い物ができるように注力してまいりました。

これらの結果、第47期におきましては、売上高382億2千

万円(前期比24.4%減)となりました。利益面は、営業損失36億8千7百万円(前期は営業利益3億7千6百万円)、経常損失30億1千7百万円(前期は経常利益6億3千9百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失48億8千万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益4億2百万円)の結果となりました。

### 今期の見通しについて

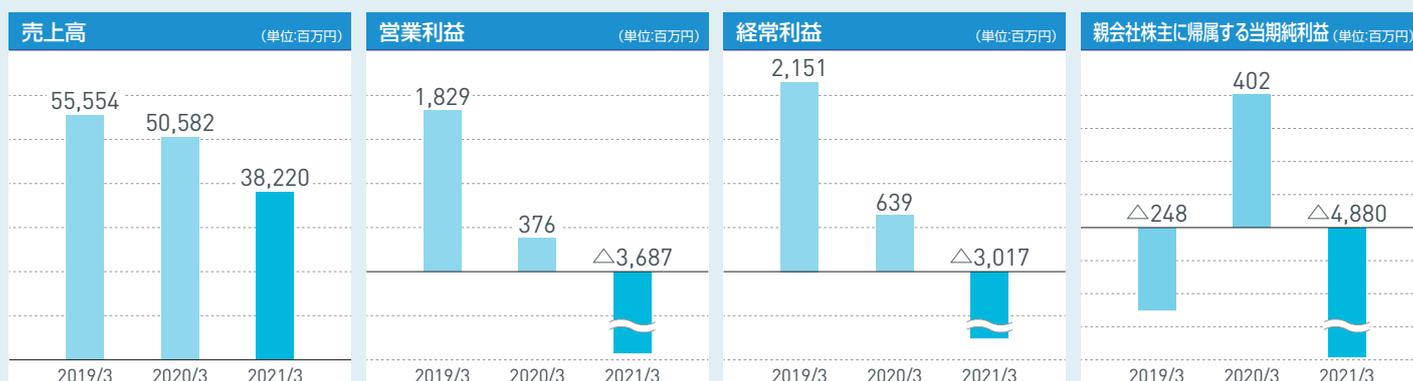
今期の見通しといたしましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象範囲が広がるなど、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。こうしたなか当社グループでは、引き続き「健康」を軸として、はるやまブランドの価値を高めることで、競合他社との差別化を図ってまいります。

また、引き続き当社グループ全体のコンプライアンス体制の整備とリスク管理体制の強化に取り組み、内部統制システムの充実に注力してまいります。

今期の業績につきましては、売上高430億円(前期比12.5%増)、営業利益1億円(前期は営業損失36億8千7百万円)、経常利益3億5千万円(前期は経常損失30億1千7百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益1億円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失48億8千万円)を見込んでおります。

## Consolidated Financial Highlights 連結財務ハイライト



## Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当連結会計年度 (2021年3月31日現在)
現金及び預金	12,112	11,813
商品	13,099	12,660
その他	4,958	5,105
流動資産	30,170	29,579
有形固定資産	16,980	14,834
無形固定資産	976	1,135
投資その他の資産	12,148	12,384
固定資産	30,104	28,355
資産合計	60,275	57,934
流動負債	15,764	14,490
固定負債	7,712	11,817
負債合計	23,477	26,307
株主資本	36,755	31,631
その他の包括利益累計額	33	△ 11
新株予約権	8	7
純資産合計	36,797	31,626
負債・純資産合計	60,275	57,934

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	50,582	38,220
売上原価	21,483	17,032
販売費及び一般管理費	28,722	24,875
営業利益	376	△ 3,687
営業外収益	546	889
営業外費用	284	219
経常利益	639	△ 3,017
特別利益	17	30
特別損失	345	2,480
税金等調整前当期純利益	311	△ 5,466
法人税、住民税及び事業税	154	141
法人税等調整額	△ 246	△ 728
当期純利益	402	△ 4,880
親会社株主に帰属する当期純利益	402	△ 4,880

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

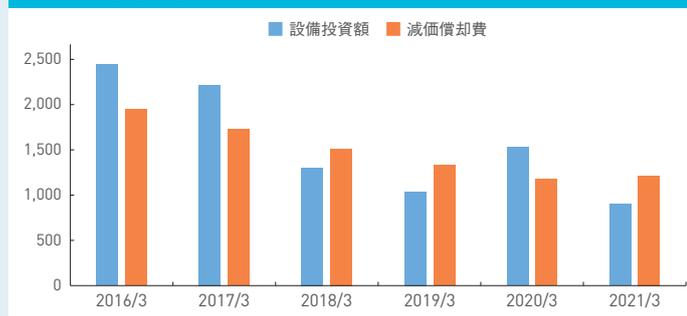
	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,587	△ 4,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,001	△ 674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 21	4,577
現金及び現金同等物の増減額	564	△ 293
現金及び現金同等物の期首残高	11,542	12,106
現金及び現金同等物の期末残高	12,106	11,813

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## POINT

## ■ 設備投資額と減価償却費の推移

(単位:百万円)



## ■ 売上総利益の推移

(単位:百万円)



## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は41億9千6百万円(前期は15億8千7百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前当期純損失を54億6千6百万円計上したこと、仕入債務の減少額が20億6千6百万円あったこと、売上債権の増加額が1億5千3百万円あった一方で、減価償却費の計上が12億1千7百万円あったこと、減損損失の計上が19億2千9百万円あったこと、たな卸資産の減少額が4億1千1百万円あったことなどによるものであります。

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は6億7千4百万円(前期比32.6%減)となりました。これは主に新規出店・既存店の改装等による有形固定資産の取得及び差入保証金の差入による支出が6億3千7百万円あったこと、投資有価証券の取得による支出が1億5百万円あった一方で、差入保証金の回収による収入が5億5千1百万円あったことなどによるものであります。

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は45億7千7百万円(前期は2千1百万円の使用)となりました。これは主に長期借入による収入が64億6千万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が17億2千6百万円あったことに加え、配当金の支払額が2億5千3百万円あったことなどによるものであります。

## Topics トピックス

01 「健康」をキーワードに  
当社ならではのアイデア商品を開発

当社グループでは、コロナ禍で多様化した生活様式のなか、テレワークやオンライン会議で活躍するニューノーマルウェアなど、お客様の声をもとにした商品を展開してまいりました。

なかでも、当社ならではのマスクの開発においては、スーツやワイシャツの生地を採用したタイプや、季節にあわせた機能を搭載したタイプ、大きさやフィット感にこだわった洗えるタイプなど、多様なマスクを展開いたしました。

今後も、お客様の声を反映し、「健康」を意識した、付加価値の高い商品開発に取り組んでまいります。

02 人気キャラクターや他社とのコラボで  
ビジネスウェアを着る楽しみをご提供

当社グループでは、『鬼滅の刃』、『ジョジョの奇妙な冒険』、『新世紀エヴァンゲリオン』、『ウルトラマン』などのキャラクターをモチーフとした商品や、『EDWIN』、『Dickies』といったカジュアルブランドとのコラボレーションを通じて、ビジネスウェアの堅苦しさを緩和し、ビジネスライフに楽しさをご提供する商品が多数デビューしました。

なかでも、人気キャラクター商品は、老若男女を問わず親しまれ、“ビジネスウェアを着る楽しみ”をお伝えすることができました。

今後も新たな視点で、笑顔が絶えない商品・サービスの展開を行ってまいります。



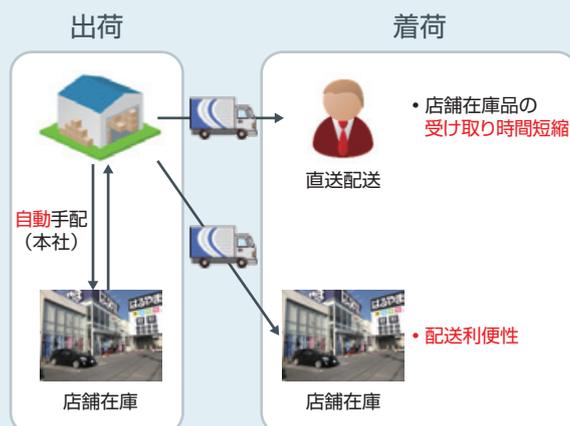
©吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable

03 コロナ禍でのお客様満足と利便性を追求した  
オンラインショップ機能を充実

当社グループでは、外出自粛が求められるなか、ご自宅からお買い物ができるオンラインショップの機能拡充に取り組み、物流体制の見直しによる納期短縮やオムニチャンネル化（商品店舗受け取り）を導入するなど、お客様満足度と利便性を高めることにも努めてまいりました。

さらに、オンラインショップサイトに当社従業員によるスタッフコーディネート写真を掲載し、お客様に着用時のイメージを実感いただくことで、より安心してお買い物ができるように注力してまいりました。

今後も、お客様が便利にお買い物ができる仕組みづくりなどを通して、お客様満足度の向上を目指してまいります。



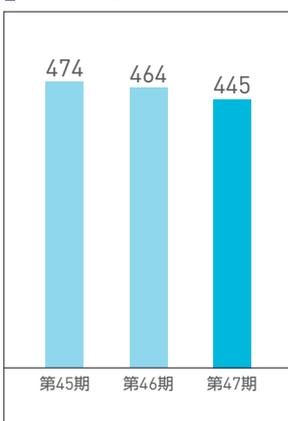
■ 当期(第47期)の出退店

(単位:店舗)

	出店	退店
はるやま商事株式会社	3	22
はるやま	1	6
P.S.FA	1	7
フォーエル	0	7
トランスコンチネンツ	1	2
株式会社モリワン	0	0
計	3	22

■ 期末店舗数

(単位:店舗)



Corporate Data / Stock Information 会社情報 / 株式情報

■ 会社の概要

(2021年3月31日現在)

商号	株式会社はるやまホールディングス
設立	1974年11月6日
資本金	39億9,136万8,000円
本社	岡山市北区表町一丁目2番3号
主な事業内容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸借
役員 (2021年6月29日現在)	取締役会長 治山正史
	代表取締役社長 中村宏明
	取締役 田尻邦夫
	取締役 清水夏子
	常勤監査役 佐藤晃司
	監査役 中川雅文
監査役 光岡敬一	
主な子会社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社 株式会社モリワン 株式会社ミック 株式会社マンチェス 株式会社ミッド・インターナショナル 田原コンサルト株式会社※ スネイルジャパン株式会社※
従業員数	連結 1,360名 単体 50名

■ 株式情報

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 149,214株)
株主数	30,065名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社はるか	1,810,000	11.07
治山正次	1,759,456	10.77
治山邦雄	1,498,722	9.17
有限会社岩淵コーポレーション	1,324,500	8.10
株式会社四国銀行	764,340	4.67
治山正史	484,072	2.96
はるやま社員持株会	377,181	2.30
岩淵典子	366,900	2.24
治山美智子	358,892	2.19
株式会社中国銀行	313,020	1.91

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(市場第一部)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 公告掲載アドレス <a href="http://www.haruyama.co.jp/">http://www.haruyama.co.jp/</a> 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324(通話料無料)

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

15%割引券

ネクタイ または ワイシャツ  
プラス

贈呈券 1枚進呈!



● 所有株数に応じて15%割引券進呈!

100株～ 499株	2枚
500株～ 999株	4枚
1,000株～ 2,999株	6枚
3,000株～	10枚

(注)贈呈券は税込6,600円以下の商品が対象となります。なお、税込6,600円を上回る商品は、差額をお支払いいただけます。

※毎年3月31日時点の株主さまに6月末頃発送いたします。